

『復興・再生の先導』を 『ワールドクラスへの飛躍』と 目指して

東北大学は、1907年（明治40年）の建学以来、「研究第一」、「実学尊重」、「門戸開放」の理念を掲げ、卓越した教育研究拠点としての歴史を築いてきました。本冊子では、2011年度における本学の様々な取り組みの中でも特筆すべき成果を紹介しています。

今、私達は東日本大震災での被災経験をはじめ、産業収益力の低下や少子高齢化、グローバル化に伴う国際競争の激化、地球規模の環境問題など、多くの課題に直面しています。このような状況の中、私が総長を務めさせていただく6年間で、東北大学が社会からの負託に応え、その本来の使命を高い水準で果たすべく、『ワールドクラスへの飛躍』と『東北復興・日本再生の先導』を達成したいと考えています。

第一に『ワールドクラスへの飛躍』のため、教育・研究面での明確な課題設定を行います。教育面では、激動する現代社会の中でリーダーとなる人材に求められるリベラルアーツとは何かということ問い直し、それを確実に身に付けられる環境を整えます。諸外国の人々と対等に議論できる語学力とコミュニケーション能力を備える人材、国際社会のリーダーとして活躍できる人材を輩出していきます。一方、研究面では、研究科や研究所ごとにその現状と課題を分析し、変革の方向性を明確にしたうえで着実な機能強化を図ります。さらに大学全体として、より総合的・学際的な視座から人類共通の課題を明らかにするとともに、その解決のために総力を結集して取り組んでいきます。

第二に『東北復興・日本再生の先導』の役割を果たしていきます。被災地では復興の兆しが見え始めているものの、いまだ本格的な復興へのビジョンは描ききれっていません。東北大学は被災地の中心にある総合大学として、新技術の開拓や産業の育成などを通して復興の先導役となることが求められています。すでに、震災直後に立ち上げた「東北大学災害復興新生研究機構」の諸活動を通して、「災害科学国際研究所」の新設や「東北メディカル・メガバンク機構」の発足など、復興・再生へ向けた多様なプロジェクトを強力に推進してきました。今後も、オールジャパン、さらにはグローバルに広がる協力体制を構築し、世界の英知を結集してこの難局を乗り越えていく決意です。

『ワールドクラスへの飛躍』を実現し、『東北復興・日本再生の先導』を果たすために、責任ある経営・推進体制を強化するとともに、本学の目指す方向を一層明確にする具体的戦略の検討を深めていきます。東北大学が果たすべき使命、取り組むべき活動を皆様にご理解いただき、多くの方々とともにその実現に努めることにより、平和で公正な人類社会の発展に貢献していく所存です。

東北大学総長
里見 進



2011年4月～2012年7月の動き

2011年（平成23年）

4月25日	東北大学総長メッセージ 東北大学始動宣言
4月27日	東北大学災害復興新生研究機構創設
5月6日	各学部入学式及び新入生オリエンテーション
5月7日	全学オリエンテーション及び新入生特別セミナー
6月30日	「井上プラン2007（東北大学アクションプラン2011年度改訂版）」を公表
7月27、28日	オープンキャンパス
9月27日	東北大学学位記授与式
9月28日	史料館「魯迅記念展示室」オープニングセレモニー
10月8日	東北大学ホームカミングデー
10月15日	附属図書館創立100周年記念式典
10月24日	国連デー@東北大学
11月3～5日	‘11東北大学祭
12月7日	AIMR本館竣工式
12月21日	「東北大学 元気・前向き奨学金制度」創設
12月31日	東北大学川内萩ホールジルバスターコンサート2011 鎮魂と感謝

2012年（平成24年）

2月1日	東北メディカル・メガバンク機構発足
2月25日、26日	平成24年度東北大学一般選抜入学試験「前期日程試験」
3月11日	東北大学による東日本大震災1年後報告会
3月12日	平成24年度東北大学一般選抜入学試験「後期日程試験」
3月27日	東北大学学位記授与式
4月1日	里見進第21代総長就任
4月1日	東北大学災害科学国際研究所設立
4月5日	平成24年度東北大学入学式
7月30、31日	オープンキャンパス



平成24年度 東北大学入学式



川内北キャンパス



平成24年度 オープンキャンパス